

## 第5回須賀小学校地域拠点施設検討委員会議録

### 1 開催日時

令和7年11月5日（水）19:00~21:00

### 2 開催場所

宮代町役場 202 会議室

### 3 出席者

（委員）

佐々木誠委員長、森山和弘副委員長

、中村隆委員、金野泰久委員、谷義明委員、星野花恵委員、穴戸ゆみ委員、川野達則委員、諸星香代子委員、荒木義雄委員

（事務局：くらし安全課、地域支援課、子育て支援課、教育推進課）

新井庸一 くらし安全課長、柴崎記代子 子育て支援課長、田中啓之 教育推進課長

小林知弘 地域振興課長、小川雅也 教育推進課副課長、高橋道彰 教育推進課主査、堀

内恵介 くらし安全課主査、埜中美也 教育推進課主任、指田瞭 教育推進課主事、矢口

陸 教育推進課主事

（須賀小学校地域拠点施設実施設計業務委託受託業者）

株式会社久保氏 久保久志、門脇寛子

### 4 欠席者

（委員）

上田悟委員、小澤香保里委員、唐松奈津子委員、斎藤夏未委員

### 5 次第

1 開 会

2 実施設計進捗の報告

3 須賀小学校地域拠点施設整備スケジュールの変更について

4 その他

5 閉会

## 6 議事（要旨）

### 1. 開会

佐々木委員長より挨拶。

### 2. 実施設計進捗の報告

久保氏：株式会社久保氏の久保と申します。実施設計の報告をいたします。

7月1日から時間は空きましたが実施設計を進めてまいりました。プロセスをご説明いたします。実施設計ということで、より詳細なヒアリングを学校と行いました。家具の仕様やスイッチの位置など細かい話をしました。皆様のご要望と私どもの提案をすり合わせました。また7月22日メディアセンターの使い勝手について先生方とワークショップを行いました。学校司書、町立図書館司書の話も聞かせてもらい、より詳細な話を深めていきました。オンラインでも先生方と打合せを重ね、実施設計をアップさせるべく進めています。図面につきましては7月1日から大きな変更はございません。三次元的なモデルを皆様のお手元に御用意させていただきました。おおよその姿形はこちらのとおりです。改めて校舎を建て直すということで、現校舎は3階建ての威圧感のある感じですが、新校舎は2階建てでかえでの木を中心に囲い、屋根が分節されており、住宅地の中に建っていてもおかしくないように調和させるような形です。またハイサイトライトといって屋根の高い位置に窓があり、そこから光を取り込むことで、建物全体が明るくなるような構造になっております。テラスが点在しており外で行っている活動をテラスから見ることができ、子供たちが授業の合間、休み時間に息抜きができるように、2階にも配置されているのが大きな特徴です。また、かえでの広場に向かって開口部があり、内部の活動が見えるようになっているのも特徴の一つです。大きな階段が昇降口に向かってある。色々な使い方が出来る広場になっている。テラスもイベント時には観覧席として使ってもらえると思います。平面図についてはランドスケープの担当者と話を詰めているところです。室内のサインもデザイナーと調整しているところで、次回1月か2月にまとめてご報告予定です。内覧の図面についてです。メディアセンター3から活動室2に向かってみている視点です。上を見ると子どもたちの2階のエリアが吹き抜けを介して繋がっているような形になっています。家具も図面のように点在している状況で色々な使い方をしてもらえると思っています。また、給湯スペースを設けさせていただいているので、イベントの際には一体的な使い方ができると思います。2階から子供たちの視点では、歩きながら大人の活動を見下ろせるようになっています。

まだ最終形ではないですが、設計の進捗は以上です。

佐々木委員長：ありがとうございました。前回より詳細になってきてイメージが湧きやすくなったと思います。また設計途中とのことですが、素朴な疑問や使い方について、質問などございますか。

佐々木委員長：分節しているという話がありましたが、勾配の白いフラットの部分が数か所ありますが、陰になっている部分について教えてください。

久保氏：フラットではなくて、5／100の勾配で金属屋根です。

佐々木委員長：影は何ですか。

久保氏：作り切れていない部分です。壁になります。

森山副委員長：かえでの木はどの場所にありますか。

久保氏：緑のスペースです。剪定をします。地面は芝生にし、低木の植栽を入れます。踏みしめすぎると根が弱るかもしれないので活動場所は限定できればと思います。

佐々木委員長：芝生になる場合、メンテナンスは必要でしょうか。

久保氏：そこまで大きな範囲ではないですが、家で芝刈り機を使うような定期的なメンテナンスは必要です。

佐々木委員長：入れなくする期間を設けますか。

久保氏：場合によってはそのような期間が必要となると思います。

佐々木委員長：できた後の疑問などありますか。

金野委員：CGで拝見でき、現実に近いと実感しました。三角のテラスは人がどれくらい入れますか。

久保氏：1クラス分は入れます。

金野委員：校庭の様子は眺められますか。

久保氏：眺められます。帰りに昇降口から出て集合し何かできます。

金野委員：下の部分も人は入りますか。

久保氏：テラスと同様の人数は入れます。

佐々木委員長：他にいかがでしょうか。

諸星委員：学童保育前の屋根部分下のグレーの場所はどのような地面でしょうか。

久保氏：ポーラスコンクリートです。おしゃれなアスファルトで耐久性のあるものとなっています。一番歩く部分なので強度があるものにしました。

諸星委員：雨の時に一斉下校で帰ってきても庇があれば混雑しなそうでありがたい。入り口部分は校庭からくると汚れるがアスファルトなのでありがたい。

久保氏：学童入り口には手足洗い場を設置予定です。

諸星委員：緑色は芝生ですか。

久保氏：低木です。つつじばかりではなく、色々混在させます。時期をずらして咲いているものを入れます。雑草を生えにくくする工夫をランドスケープと考えています。

星野委員：車が入れるのはどのあたりまでですか。

久保氏：駐車場に15台は入れます。職員室前の門扉から緊急車両は入れます。駐車場の排水の基準が厳しく、南側の角の道路レベルにしなくてはなりません。雨が降ったときに貯留槽から少しずつ流すようになります。低いレベルに駐車場があり、数段階を登ります。

星野委員：学童から帰るときは雨に濡れないようにしたい。

久保氏：体育倉庫があるので、正門周りをどのようにして子供たちを受け入れようかと検討中です。

星野委員：正門はどちらですか

久保氏：北西側です。屋根がある渡り廊下を歩いて子供たちのエリアに行きます。本当は屋根が続けばよいのですが費用がかかるため途中までとなっています。

佐々木委員長：底のある通路にプランターがほしいです。

久保氏：別置きできるタイプがいいかと思っています。

中村委員：小学校が避難場所になっていると思いますが防災倉庫はありますか。

久保氏：倉庫2が防災倉庫です。

中村委員：どのくらいのスペースですか

久保氏：教室の半分ほど、30平米くらいです。

佐々木委員長：今どのくらいですか。

中村委員：2トン車のコンテナが2台くらいです。集会所が狭いため防災器具でいっぱいでも水や米は備蓄できない状態です。小学校は和戸だけではなく、他の住民分も必要だと思いますがいかがでしょうか。

新井課長：和戸地区の防災倉庫ではありません。私どもの想定では、和戸公民館と須賀小学校の一部を防災倉庫に入れます。今の防災倉庫に食物は一切入っていないので、新校舎の防災倉庫にも入れる予定はありません。入れるとすれば、水や資機材を入れます。大きさは既存のものの倍となりますので容量的には足りませんが、管理方法については今後の課題です。

星野委員：授乳室はありますか。役場の授乳室は評判があまりよくありません。エアコンはありますか。

久保氏：ソファ2台、洗面、ベビーベッド、空調あり、雰囲気は良く使い勝手もよいです。

星野委員：ショッピングセンターのような居心地の良いものもいいです。過ごしやすいと評判が広がれば、子育て世代の居場所になって良いと思います。

佐々木委員長：広さの変更は難しいが、設えを工夫することはできるかもしれません。ありがとうございます。

荒木委員：駐車場に車いす用はありますか。多目的トイレはオストメイト専用台などありますか。

久保氏：広めの多目的トイレにしております。地域エリアと2階にも多目的トイレ設置します。4月に法改正がありまして、少し規模が大きい公共建築に1つで十分でしたが、階ごとに1つ必要になりましたのでそれに準じています。オストメイト専用台もあります。

佐々木委員長：茶色の部分はどのような作りですか。

久保氏：ウッドデッキで縁側のように使用できればと思います。グラウンドの様子を見ることができます。200～300ミリくらいの高さです。

星野委員：共用部分の女子トイレについて、トイレの機能だけでなく、他に必要なもの、例えばお子様を座らせるものはありますか。

久保氏：ベビーチェア、フィッティングボードを入れています。トイレの中には必ず1つは大きめのブースを設置するようにしています。子供用の便器は整備していませんが、便器は子供たちも使える低い高さのものとなっています。明るめのトイレが良いので必ず窓が付いています。タイルをイラストモザイクタイルとして子供たちと施工ワークショップをして作っていかうと考えています。

荒木委員：光が入る形でおっしゃっていましたが、進修館の1階のトイレも光が入る形だけでも、蛍光灯が洗面台にしかついてないため暗い印象があります。

久保氏：人感センサーがついているため、入ると明るくなります。

荒木委員：センサーが入口にあると、長く便器に座していると明かりが消えることがあります。広角だと嬉しいです。

久保氏：広範囲のセンサーとなっています。他にも熱センサーなど色々なタイプがありますが、予算との兼ね合いとなります。

佐々木委員長：照明は全体的にどのようなものでしょうか。

久保氏：普通のオフィスで使用している白系よりも暖色にしたいと思っています。子供たちが作業する場所は白色系。かえでから見たときに一体感があるように色温度は計画しています。これはCGで表現できますので、改めてお見せできたらと思います。

佐々木委員長：病院のような白っぽい感じではなく、住宅に近い感じですか。

久保氏：細かい作業をするところは白色系です。

森山副委員長：ピンクのスペースはオープンですか。生徒たちが行ってもいい場所ですか。

久保氏：今後の運用の話になりますが、地域の方が校舎エリアに入らないよう、各所防火扉の他に木製扉を設置しています。また事務スペースにいる人の目で監視できるようにします。エリアの境界には扉を設置してセキュリティのコントロールをします。運用上、開けて運用することもできますし、閉めて運用することもできます。

森山副委員長：児童の人数を考えると掃除が大変なのではないでしょうか。

久保氏：掃除はこどもたちエリアのみです。学校施設を地域の方が使用する場合誰が掃

除をするのかという運用の話も今後でてくると思います。

### 3. 須賀小学校地域拠点施設整備スケジュールの変更について

事務局：事務局の教育総務担当指田と申します。よろしくお願いします。今後の須賀小学校 地域拠点施設整備スケジュールの変更について説明します。資料は、配布している書類のA3ヨコのものになります。前回の7月1日の整備推進委員会でお配りした資料に、赤字で変更箇所を記載しております。変更箇所は、校舎先行解体工事と木材の資材調達の発注時期を3か月遅らせたことです。発注時期を遅らせた理由は、毎年、交付金の内定が4月に通知されるのですが、その通知を受けてから発注手続きをすることとしたため、解体工事と資材調達の発注時期を令和8年4月まで遅らせました。発注時期は遅らせますが、校舎の完成時期は令和10年4月から変更ありません。発注を遅らせた分を取り戻すため、当初別々に発注する予定だった、校舎先行解体工事と校舎・体育館建設工事を1本の工事で発注することで、工期の短縮しております。校舎完成後の残った第1校舎、第2校舎解体、体育館解体のスケジュールについても変更ございません。私から、今後の須賀小学校 地域拠点施設整備スケジュールの説明は以上となりますが、最後にこのスケジュールは現段階の案ですので、今後変更する可能性があることを申し添えます。

佐々木委員長：ご質問などございますか。入札手続きの開始時期は同じですが、実線の位置がずれていますが。

事務局：解体工事と建築工事を一本化します。

事務局：工事に関するものは6月の議決を経る必要があります。資材の調達は議会不要なため入札が完了すればスタートできます。そのためずれていますが。

佐々木委員長：開校の時期は変わらないこととなっています。2年以上期間がありその間に使い方の検討などあるかと思います。うまくスタートできるように助走期間がありますが、何かご意見等ある方は挙手をお願いします。

榎の木が今回の解体ゾーンに入っており、学校や周辺の方にもこだわりがあると思います。この木のDNAを受け継いだ木を育てていると聞いていますが、からめてイベントをするなどお考えはありませんか。

森山副委員長：榎の木保存会の会長をやっております。榎の木を樹木医さんに診てもらったところ、移設するにあたり根がもたないと言われていました。子孫を学校裏に植え、4mほどになっています。お別れ会は考えていません。

金野委員：校庭、校舎についての愛着は子どもたちにもあります。運動会で、保護者の力も借りて、俳句を作りました。校庭のことを思い描く時間を取りたかったので、

俳句を作ってもらい、学年ごとに遊具に俳句を貼りました。第2弾はこどもたちの思い、6年生の思いを総合授業の中ですすめられたらと思っています。まだ構想段階ですが、12月夕方にプロジェクションマッピングを須賀小学校校舎に投影するようなものを子どもたちが司会をして発表会を行いたいと思っています。第3弾は、3月くらいに何かやろうかなと思っています。校舎内に俳句なのか。来年度の7月、8月の職員は引越しで忙しいです。イベントについては学校主体で実施するにはかなり力がいらいます。さよならイベントは整備推進委員のみなさんの力を借りて実施してもらえればと思います。櫃の木だけではなくお地藏様など思いが込められているものをどうするか、学校としては悩んでいます。

佐々木委員長：第3弾は地域主体ですか？

金野委員：そうですね。町と学校が一体となれば6月か7月に一度で済むかと思っています。第1弾は終了。第2弾はどこまで周知をするか検討中。防犯上も考えています。第3弾以降は要相談。イベントは大事にしていきたいです。

佐々木委員長：新しい施設ができるまでの助走期間で気運を高めていくということになりそうですね。どんび隊での動きはありますか。

星野委員：以前進修館でお話したときに、それぞれ好きな場所を撮影して残したらいいよねという話にはなった。また、さよならマルシェのような出店をして、お祭りみたいな雰囲気のできたらいいなと思っています。川野さんいかがでしょうか。

川野委員：イベントをやるには、どこまでの範囲でやるのか。

金野委員：発想を思いっきり変えて1学期の授業参観でやるのはどうでしょうか。学校の事情ですが、今まではゆとりの時間があったが、今は授業時間が少ない。学校としては今までの行事を見直すか。6月下旬、7月あたりにやりたいです。また相談に乗ってください。

佐々木委員長：1学期終わったあとに校舎の見学は可能か。

事務局：最後に内覧会はできます。引越しのタイミングもあるので、タイミングが難しい。みなさんと相談しながら詰めていければ。

金野委員：8月は引越しで職員は引っ越しでイベントどころではない。

事務局：ある程度綺麗にした状態を見せるには、4月～6月かと思っています。

金野委員：一部内覧となるのか。限定的になるかもしれません。

久保氏：思い出を残すという意味では、ちぎり絵を作らせた例もあります。防火扉にインクジェットシートで転写しました。思い出に残っているイベントをちぎり絵にしてもらいました。保護者の皆さんから陶器などの廃材を集めて、川に生息している生き物をつくった例もあります。他の学校では、統合する前の学校のガラスを入手しておき、ガラスを細く切り、半分とかして、衝突防止マークとした例もあります。新しい建物に形として前の学校のものを残すことはできます。

金野委員：ステンドグラスや記念樹は残したい。今年さくらの木が倒木した。樹木の一部断面を切って、学校の頑張る言葉を書いた。学童前にあるイチョウと杉の木はとても良いものなので残したい。

久保氏：樹木を使う場合は、置いて水分を飛ばさないとならないです。ある程度の厚みでスライスし、1年から2年自然乾燥し、保管しておく必要があります。

森山副委員長：榎の木は中が空洞なので、何かを残すのは難しいと思います。中学校との間にもう1本榎の木があり、そちらなら何とかできるのではないのでしょうか。

金野委員：杉の木、使えるのであれば早めに切って乾燥してほしいです。

久保氏：どれを残すのでしょうか。

佐々木委員長：保管場所はどうするのか。可能性はあると思うので検討してはいかがでしょうか。

諸星委員：他の学校の例で、長いテーブルを作るのはどうか。

久保氏：テーブルではなく構造体です。

諸星委員：地域の人からはまな板や学校の中のベンチにするなど意見が出ました。建物の中にイチョウの木の表面が飾られたものがあつたらいいと話があつた。

佐々木委員長：可能性はあると思います。

諸星委員：木が生えている様にできると話は佐々木委員長からもらいました。

久保氏：別の事例ですが、廃材をもったいないので置きし、階段教室（発表の場）に音が拡散する反響版にしたものを作った例もあります。厚みが3種類あるブロックで、壁一面に貼りました。仏壇屋さんが毎年1回授業に来てくれます。木への漢字を5年の時に彫り6年の時に持ち帰る。建物が出来上がってから施設づくりに関われないかと思い、このようなことも実施しております。5年くらいやっています。建物が出来るまでの経緯や工夫を授業として話をしたり、外壁の塗装ワークショップを子供たちがやり、地域の塗装屋さんがフォローしてくれています。木は色々な使い方ができます。

佐々木委員長：須賀小では何ができますか。

森山副委員長：私が卒業のときに校章が彫ったのですが、自分がどこを彫ったかまだ覚えています。後ろに名前が残っています。そのままどこかに飾ってもらえないのでしょうか。先月同窓会があり、かえでの木の前で写真を撮りました。

諸星委員：5年生で作り、6年生で持ち帰るのはいいなと思いました。子供たちの卒業制作はあちこちにあります。私の子供たちのときは、もう作っても飾る場所がなく、でも何か記念に残したいということで記念樹となりました。植樹をする機会があれば学校に来るきっかけになる。1年しか飾らないが自分のところに来る、というのは良いと思った。

佐々木委員長：授業日数的に厳しいですか。

金野委員：総合的な学習の時間でどうか。あとは小学校、中学校の連携だったり。



森山副委員長：昔は土曜も授業があったためそのようなことが可能だったと思います。今はそうはいかないと思います。

佐々木委員長：先行解体が始まると、工期が十数か月とありますが、その期間に小学校は授業しつつ、地域コミュニティの立ち上げの気運を高めていくことが重要かと思いますが小林課長いかがでしょうか。

小林課長：地域の皆様との関わりの中で、完成前から着手し、4月（完成）の段階はスタートでありつつ、今から助走して始めていきたいというイメージは持っています。役場とどんぴ隊の皆様とすり合わせをしていきたいです。卒業制作の話も良いなと思いました。小さい一歩を早めに踏み出し、1つの事業となっていけばよいかなと思います。

佐々木委員長：他に何かございますか。

穴戸委員：地域コミュニティについて先行して活動を始めてしまったのですが、かえでこども食堂を9月から始めました。子ども会も入会が選べるようになっており、地域の力が失われていることが悲しいです。東畑さんから借りている模型を駄菓子屋で預かっており、こども食堂でも見せるようにしています。特に小さい世代の方たちに伝わっていないため、模型を見せたくて手伝っています。学校ができれば家庭科室を一番に使ってこども食堂をやりたいと思います。今回2回目の開催です。1回目には諸星先生が来てくれました。現在高校生になった子も手伝いに来てくれました。走り始めたので関わってもらえればと思います。2年後に展開出来ていければ見切り発車がどんどん出てきても良いと思います。そのためにも「ここを借りられる」ということを、模型を見せて説明していくのが、私がやっている活動です。3Dの絵はまだ見せられないですか。

事務局：まだ完成版ではなく、今後変更する可能性があることをご理解いただければ大丈夫です。

穴戸委員：スケジュールも公開してもよいでしょうか。

事務局：2週間後には公開されるので大丈夫です。

佐々木委員長：広報みやしろにもざっくりしたスケジュールは出ています。

穴戸委員：宮代台は須賀小の学区で、地元のこども食堂です。メインは進修館で社会福祉協議会がやっているものです。須賀小と須賀中にしかチラシも置いていないです。

佐々木委員長：草の根活動を実施されている。もっとこのような活動が増えれば良いと思います。

森山副委員長：家庭科室の包丁などは誰が管理をするのでしょうか。

事務局：運用についてはこれから考えます。学校、地域で使用する物を分ける必要があります。

森山副委員長：衛生面の問題や、包丁が紛失したら大変だと思う。地域の方が使用する場合は持参をということもあるのでしょうか。

小林課長：地区コミとの連携となると思います。

#### 4. その他

事務局：12月を目処に実施設計を完成させていきます。次回の開催日のご連絡です。

次回は1月もしくは2月頃の開催を予定しております。通知を送付しますので是非ご参加ください。

#### 5. 閉会